

形名	LET-21085-LS9	<防湿・防雨形>
----	---------------	----------

適合ランプ(別売)	東芝直管形LEDランプ(LDL20タイプ)
-----------	-----------------------

このたびは東芝直管形LEDランプシステム照明器具をお買いあげいただきましてまことにありがとうございました。お使いになる方や他人への危害と財産の損害を未然に防ぎ、商品を安全に正しくお使いいただくために、この取扱説明書をよくお読みください。

■安全上のご注意

照明機器の工事に関しては、電気工事の有資格者の施工管理が義務付けられています。工事が終了しましたら、この取扱説明書は必ずお客様へお渡しください。

・お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

工事店様へ 施工上のご注意

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	禁止 <ul style="list-style-type: none"> ・器具に表示された電源電圧(定格電圧±6%以内)以外で使用しない。(短寿命、火災の原因) ・ランプや器具を改造したり、部品を変更しない。(落下・感電・火災等の原因)
	必ず実施 <ul style="list-style-type: none"> ・器具は、5℃～35℃の範囲で使用してください。(火災の原因) ・アース工事は電気設備の技術基準に従い確実に行ってください。アースが不完全な場合は、感電の原因となります。 ・器具の取り付けは、天井直付けまたは壁付(横)専用です。(火災、器具落下の原因) ・器具の取り付けは、質量に耐える所に本体表示並びに取扱説明書に従って行う。(器具落下の原因) ・電源線接続は、確実に挿し込む。(発熱、火災の原因)

	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	禁止 <ul style="list-style-type: none"> ・器具は軒下などの雨線内の屋側でご使用になれます。振動の強い場所、その他の屋外では使用しない。(絶縁不良、感電の原因) ・この器具は、腐食性ガスが発生する場所では使用しない。(変質、変色、絶縁不良、落下の原因) ・直射日光の当たる場所に使用しないでください。変色・変形・火災・短寿命の原因になります。 ・器具を密閉した空間に使用しない。(LED短寿命の原因)

	お願い <ul style="list-style-type: none"> ・ラジオ、ワイヤレス方式の機器は、なるべく照明器具から離してご使用ください。雑音が入る場合があります。 ・ランプ取り付けには方向性がありますのでご注意ください。
--	--

お客様へ 使用上のご注意

	警告 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示します。
	禁止 <ul style="list-style-type: none"> ・ランプ交換やお手入れの際は、必ず電源を切ること。(感電の原因) ランプ交換の際は、“L形口金付直管形LEDランプ”を指定ください。間違った種類・ワット(W)数のランプを使用した場合は、過熱によりランプや器具が変形、変色したり火災の原因となります。 ・ランプや器具を布や紙などの可燃物で覆ったり、被せたり、燃えやすいものを近づけたりしない。(火災の原因) ・器具のすきまなどに針金などを差し込まない。(けがや感電・火災などの原因)

	注意 この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が重傷を負う危険が想定される場合および物的損害の発生が想定される内容を示します。
	禁止 <ul style="list-style-type: none"> ・金属部分をクレンザーやたわしでみがかない。(傷、腐食の原因) ・ガソリン、ベンジン、シンナー等の薬品で拭いたり、殺虫剤をかけたらない。(破損、落下、感電の原因) ・ランプを清掃する際は、ランプを器具から外して乾いた布でふく。
	必ず実施 <ul style="list-style-type: none"> ・お手入れの際は、必ず電源を切ってください。(感電の原因) ・器具のお手入れは、乾いた柔らかい布か、ぬるま湯または中性洗剤を浸した布をよくしぼってからふいてください。(メッキ部分は乾いた布でふいてください。) ・照明器具には寿命があります。設置して10年経つと、外観に異常がなくても内部の劣化は進行しています。点検・交換をおすすめします。※使用条件は周囲温度30℃、年間3000時間点灯です。周囲温度が高い場合・点灯時間が長い場合などは寿命が短くなります。1年に1回は「安全チェックシート」により自主点検、および定期的に工事店等の専門家による点検を実施してください。(「安全チェックシート」は弊社ホームページに掲載しております。)点検せずに長時間使い続けるとまれに火災・感電・落下などに至る場合があります。

■ランプ交換時のご注意

<ul style="list-style-type: none"> ・器具適合のランプ種類(口金形状)、ワット数をご確認ください。 ・ランプ交換は必ず電源を切った状態で行い、ランプ交換後に電源を投入してください。 ・ランプ寿命末期やランプ故障時などに安全のため電源の安全回路が動作することがあります。この安全回路は、正常ランプ(正常負荷)を取り付けた状態で電源を再投入するとリセットされ、ランプが正常点灯します。
--

■適合ランプ基本特性(周囲温度(25℃時))

ランプ種類	20ランプ(LDL20T/9)			20ランプ(LDL20S/11)			高出ランプ(LDL20T/12)		
	100	200	242	100	200	242	100	200	242
入力電圧(V)	100	200	242	100	200	242	100	200	242
入力電流(A)	0.128	0.067	0.059	0.139	0.073	0.066	0.151	0.079	0.070
消費電力(W)	12.5	12.5	13.0	13.5	13.6	13.8	15.0	15.0	15.5

■各部のなまえ

■本体と反射板(笠)の組合せ表
[本体・反射板(笠)は別梱包・別売です。]

組合せ形名	質量(kg)	本体形名	反射板(笠)形名
LET-21085-LS9+T-2182	1.8	LET-21085-LS9	T-2182
LET-21085-LS9+R-2182M	2.0		R-2182M
LET-21085-LS9+HR-2182N	2.0		HR-2182N

この取扱説明書は同種類のLED器具と共通になっておりますので、お求めの器具と姿図がちがっている場合があります。

■器具の取り付けかた

1 器具の取り付け寸法 (単位mm)

2 器具の取り付け準備

- ① ランプソケットをソケット取付部にしっかり差し込んで取り付けてください。(第1図)
- ② 本体の角穴に反射取付金具を取り付けてください。(第2図)

3 器具本体の取り付け

- ① 本体の電源用穴に付属のプッシュをはめ込んでください。
- ② 本体を取付ボルトまたは木ねじで確実に取り付けてください。(取付けボルトはW3/8またはM10を使用し座金を必ず入れてください。)
不備がありますと、器具落下の原因となります。
- ③ 電源線・アース線・口出線を接続してください。接続部は自己融着テープ・絶縁テープを使用して、絶縁処理・防水処理を確実に行ってください。(第3図)
接続の絶縁処理・防水処理に不備がありますと不点灯・感電・火災の原因となります。
- ④ 接地端子を利用し、D種(第三種)接地工事を行ってください。(第4図)
- ⑤ 反射板を化粧ねじで取り付けてください。
不備がありますと、落下の原因となります。

リード線の内側にも防水処理を行ってください。

■ 器具の取り付けかた

- ⑥ ランプにキャップ（パッキン・パッキンオサエ）をはめ込んでください。（第5図）

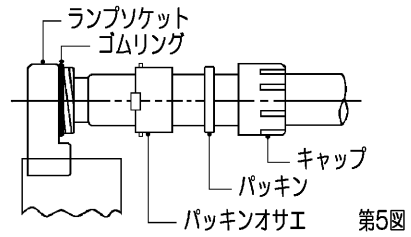
- ⑦ LEDランプの接地側口金端子を接地側ランプソケットに差し込んだ後に、給電側ランプソケットを持ち、器具端部に広げながら給電側を差し込んでください。そして90°回転させランプを確実に取り付けてください。（第6図）

不備がありますと、落下の原因となります。

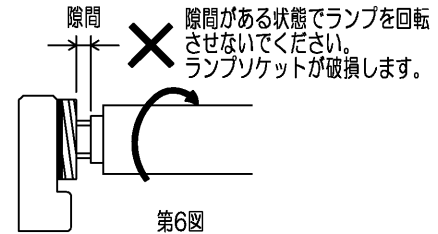
- ⑧ LEDランプ口金のTOSHIBA表記がソケットの溝の位置にきていることを確認してください。（第7図）

- ⑨ ランプソケットのゴムリングがキャップでかくれるまでしっかり締め付けてください。

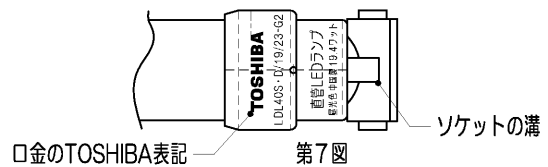
締め付けに不備がありますと、防水性が低下します。



第5図



第6図

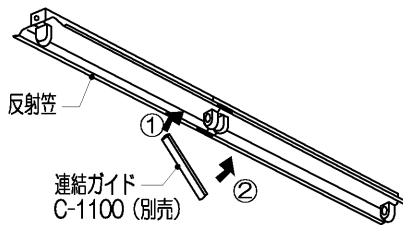


第7図

4 連結の取り付け

- ① 反射笠の連結取付

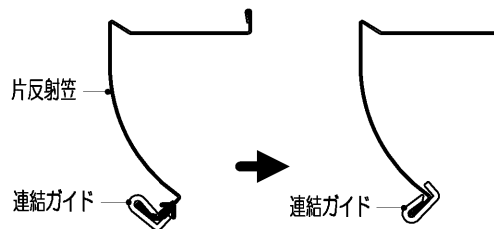
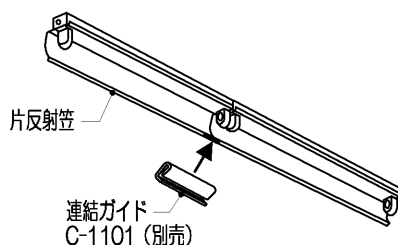
反射笠の位置を合わせる場合は、反射笠用連結ガイドC-1100（別売）をご使用ください。



※反射笠のカール部に連結ガイドを差し込み取り付けてください。

- ② 片反射笠の連結取付

反射笠の位置を合わせる場合は、片反射用連結ガイドC-1101（別売）をご使用ください。



※片反射笠の形状に沿って連結ガイドをスライドさせ取り付けてください。

修理・お取り扱い・お手入れについてご不明な点は

お買い上げの販売店へご相談ください。

販売店にご相談ができない場合は、下記の窓口へ

日本国内専用
Use only in Japan

東芝ライテック商品ご相談センター

0120-66-1048 (通話料：無料)

携帯電話 046-862-2772 (通話料：有料)

FAX 0570-000-661 (通話料：有料)

ホームページアドレス <https://www.tlt.co.jp/>

- ・お客様からご提供いただいた個人情報、修理やご相談への回答、カタログ発送などの情報提供に利用いたします。
- ・利用目的の範囲内で、当該製品に関連する東芝グループ会社や協力会社に、お客様の個人情報を提供する場合があります。

保証について

- ・保証期間は、商品お買い上げ日より1年間です。但し、LED器具の点灯装置については3年間です。
- ・セード、グローブ、リモコン送信器は保証対象とし、ランプ、点灯管、電池などの消耗品は対象外とさせていただきます。
- ・24時間連続使用など、1日20時間以上の長時間使用の場合は、上記の半分の期間とします。
- ・取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無償修理させていただきます。

修理を依頼される時

- ・保証期間中は、お買い上げ日を特定できるものを添えてお買い上げの販売店(工事店)までお申し出ください。
- ・保証期間を過ぎている時はお買い上げの販売店(工事店)にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合は、ご希望により有料修理させていただきます。
- ・アフターサービスについてご不明な点並びに修理に関するご相談は、お買い上げの販売店(工事店)または東芝ライテック商品ご相談センターにお問い合わせください。
- ・その際は器具の形名、お買い上げ時期をお忘れなくお知らせください。

保証の免責事項

1. 保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
 - (1) 使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (2) お買い上げ後の取り付け場所移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
 - (3) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、異常電圧、指定外の使用電源(電圧、周波数)などによる故障及び損傷
 - (4) 車両、船舶等に搭載された場合に生じる故障及び損傷
 - (5) 施工上の不備に起因する故障や不具合
 - (6) 法令、取扱説明書で要求される保守点検を行わないことによる故障及び損傷
 - (7) 日本国内以外での使用による故障及び損傷
2. 離島および離島に準ずる遠隔地へ出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。

補修用性能部品の保有期間

- ・補修用性能部品の保有期間
弊社は照明器具の補修用性能部品を製造打ち切り後6年間保有しています。性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。補修用性能部品には、同等機能を有する代替品を含みます。

東芝ライテック株式会社

〒212-8585 神奈川県川崎市幸区堀川町72番地34

お客様はお読みになったあとも必ず保管してください。

0034730A